### ■工法概要

外構における各種基礎をサイトPCa化することにより、労務の効率化を図る施工計画の手法。

特に、外構範囲が広く、複数工区に分かれて一度に施工できな場合や、少量の鉄筋・型枠・コンクリート打設を何度も繰り返さなければならない場合などの施工条件であれば、外構躯体における省人化が可能である。

### ■写真・イメージ・図面





外廊下独立基礎のサイトPCa化事例





外構設備基礎のサイトPCa化事例

## ■特徴・適用条件・注意事項 等

#### 【工程】

▶・外構基礎躯体工程が、サイトPCaのセットのみとなり工程短縮が可能。

# 特徴

### 【労務・コスト】

· 効 果

メリット

・外構工事が複数工区に分割され、工区ごとに基礎工事が必要になる条件下でも、鉄筋・型枠・コンクリート土工および左官工等をその都度手配することが不要。

・本体建屋の躯体工事中の隙間時間を活用しながら、外構基礎PCaを先行して作製することが可能。

・上記に伴い、躯体労務および原価低減が可能。

### 【品質】

・基礎のアンカー類の精度確保が容易。

適用条件 広い外構工事があること、複数工区に分かれていること、同一形状基礎類が 多数あること、施工ヤードが確保できること。等

特許なし

メーカー等なし

備考

## ■検索用分類

検討時期	部位∙種別	着眼点	効果	職種
■ Phase0(営業)	□ 仮設	✓ 繰り返し作業	∐ Q	□ 鳶工
■ Phase1(企画)	■ 基礎	☑ 工程数削減	☑ C	✓ 土工
✓ Phase2(基本設計)	✓ 躯体(RC)	□ 標準化・モジュール化	✓ D	✓ 鉄筋工
✓ Phase3(実施設計)	■ 躯体(S)	✓ 省人化	□s	☑ 型枠工
☑ Phase4(施工準備)		☐ IT化·高効率化	□E	左官工
✓ Phase5(施工)	内装	✓ 工場製品化・PCa化		■ 鍛冶工
	✓ 外構	□ ユニット化		■ 金属工
	□設備	<b>─</b> 機械化		□ 内装工
	□IT化	■ 多能工化・共業化		■ 電工
	□ 特殊構工法	☑ VE•設計変更		配管工